

科目名	服飾手芸	学年	2年	使用教材	【教科書】ファッション造形 実教出版
		必修・選必・ <span style="border: 1px solid black;">テクニカルコース必</span>			【副教材】
		単位数	2単位		

#### 学習目標

手芸の種類と変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、装飾に活用する能力と態度を育てる。

#### 学習方法

- 刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸などについて、作品を実際に見たり触れたりして、手芸の技法や特徴を理解させ、関心を持たせる。
- 刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸を通して、基礎的な技法を習得させる。
- 生徒の主体的な学習を重視し、製作計画を立て、目的に応じた作品を製作させる。

#### 学習評価

- 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。

①関心・意欲・態度	ファッションデザインのための素材づくりに必要な、刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸等について関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとしている。
②思考・判断	ファッションデザインのための素材づくりに必要な、刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸等について見直し、生活課題を主体的に解決するために思考し、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。
③技能・表現	ファッションデザインのための素材づくりに必要な、刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸等に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。
④知識・理解	ファッションデザインのための素材づくりに必要な、刺繍、縫い物、編み物、その他の手芸等生活を充実向上するために必要な知識を総合的に身につけている。

- 学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学 期	<p>○フランス刺繍の基礎縫い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20種類のステッチを仕上げる。</li> </ul> <p>○きんちやく袋の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無地の布に刺繍する。</li> <li>・表面に刺繍する。</li> <li>・基本ステッチから3種類以上使用する。</li> <li>・ボタン・レース・リボン等を取り入れてよい。</li> </ul>	<p>○基本ステッチを縫うことで、知識と技術を身につける。</p> <p>○基本ステッチを応用し、きんちやく袋を仕上げる。</p>	<p>○基礎縫いプリント布地を活用し、刺繍の種類と縫い方を学ぶ。</p> <p>○デザイン→刺繍→縫製→ひも通しの手順を追い、オリジナルのきんちやく袋を製作する。</p>
2 学 期	<p>○はぎれを利用したコサージュの製作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①巻きバラ</li> <li>②はりバラ</li> <li>③葡萄</li> </ol> <p>○はぎれを利用したパッチワークのポーチ製作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型紙を裁断し、ピースをつなぎ合わせる。</li> <li>・キルト芯と裏布を合わせてキルティングをする。</li> <li>・ファスナーを付けパッチワークとマチの部分縫う。</li> <li>・縫い代部分をバイステープでくるみ縫う。</li> </ul> <p>○作品発表会</p>	<p>○はぎれの有効活用とコサージュの服飾効果について学ぶ。</p> <p>○はぎれの有効活用としてパッチワークの技法を学ぶ。</p> <p>○自他の作品の違いを知り互いに認め合う。</p>	<p>○手縫いでできるコサージュの種類を知り、仕上げる。</p> <p>○使い勝手の良さや見栄えを考慮に入れながらポーチを仕上げる。</p> <p>○自己の作品を発表し互いで評価しあう。</p>
3 学 期	<p>○かぎ棒を使った基礎編み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①モチーフ編みの基礎</li> <li>②モチーフをつなぎ合わせた作品の製作</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マフラー、テーブルクロス、バッグ等</li> </ul> <p>○作品発表会</p>	<p>○モチーフ編みをすることで、かぎ編みについての知識と技術を身につける。</p> <p>○自他の作品の違いを知り、互いに認め合う。</p>	<p>○かぎ棒でできるモチーフの種類を知り、オリジナルの作品を仕上げる。</p> <p>○作品を発表し、互いで評価しあう。 (学習状況観察) (定期考査) (提出物) (自己評価)</p>